

執筆者紹介

(①所属・職位, ②主要業績, ③担当章)

長谷川一年 (はせがわ かずとし)

①同志社大学法学部教授

②「ジュリアン・バンダの政治思想——理性主義のリミットとしての」『同志社法学』第440号, 2023年。

『国民とは何か』(翻訳) 講談社, 2022年。

『混沌の共和国——「文明化の使命」の時代における渡世のディスクール』(共著) ナカニシヤ出版, 2019年。

③西洋編第Ⅰ部第5～8章, 西洋編第Ⅱ部第5・6章, 西洋編第Ⅲ部第2・3章

竹島 博之 (たけしま ひろゆき)

①東洋大学法学部教授

②『政治リテラシーを考える——市民教育の政治思想』(共著) 風行社, 2019年。

『原理から考える政治学』(共編著) 法律文化社, 2016年。

『土着語の政治——ナショナリズム・多文化主義・シティズンシップ』(共訳・監訳) 法政大学出版局, 2012年。

③西洋編第Ⅰ部第1～4章, 西洋編第Ⅱ部第1・2・8章, 西洋編第Ⅲ部第1章

萩原 稔 (はぎはらみのる)

①大東文化大学法学部教授

②『近代日本の対外認識Ⅰ・Ⅱ』(共編著) 彩流社, 2015年・2017年。

『大正・昭和期の日本政治と国際秩序——転換期における「未発の可能性」をめぐって』(共編著) 思文閣出版, 2014年。

『北一輝の「革命」と「アジア」』ミネルヴァ書房, 2011年。

③日本編第Ⅰ部第1～4・6～10章, 日本編第Ⅱ部第5章

望月 詩史 (もちづき しふみ)

①同志社大学法学部准教授

②『思想史講義』(共著) 筑摩書房, 2022年。

『「戦後民主主義」の歴史的研究』(共編著) 法律文化社, 2021年。

『石橋湛山の〈問い〉——日本の針路をめぐって』法律文化社, 2020年。

③日本編第Ⅰ部第5・9章, 日本編第Ⅱ部第1～4・6章

村田 陽 (むらた みなみ)

- ①日本学術振興会特別研究員 PD, 京都大学経済学研究科特定研究員 (学振 PD)
- ②「ギリシアへの陶醉——ジョージ・グロートとジョン・スチュアート・ミルのアテナイの民主政論」『政治思想研究』第23号, 2023年。
“John Stuart Mill and Political Reform: Responses to Bentham and Grote”, *Revue d'études benthamiennes*, Vol. 16, 2019.
- ③西洋編第Ⅱ部第3・4・7・9章, 西洋編第Ⅲ部第4～7章